

# 八碁連だより



令和3年度 定例総会の模様 3月14日  
八碁連HP <https://hachigoren.com>

令和3年4月号 第354号

発行日 令和3年4月1日(木)

発行所 八王子囲碁連盟

住所 八王子市大和田町3-17-42-110

電話 042-686-1762

発行者 成田 滋

編集者 鈴木 富士雄



## 八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

## 巻頭言

成田 滋 (大和田囲碁同好会)

2021年度も名誉ある八王子囲碁連盟の会長を引き受けさせていただくことになりました。会長としての責任と役割を再認識し、今年度は日常性への回帰ということに専念いたす所存です。ご指導とご支援をよろしく願っています。

私どもは、コロナに感染するのではないかと、という不安によってリスクを恐れ、行動すべきか、行動すべきでないかの判断をしながら過ごしています。昨今の状況では、「何かをして失敗するなら、何もしないでマイナスになる方がマシ」という心理が働きがちになります。このような認知的な思考は、「不作為バイアス」と呼ばれています。この不確実性の恐れによって回避行動が生まれ、マイナスの結果が出るのなら、何もしない方がマシと考えるのです。

多くの会員の方々が、定例会に出席するのをためらい、自宅に引きこもりがちになっています。なによりも恐れることは、加齢とともに心身の活力が低下して、介護される状態となる危険性です。もう一つの心配は人との触れ合いが希薄になり、笑いがなくなり免疫力が低下することです。幸い、一部の会員同士がネット上で対局したりオンライン囲碁大会を開いて交流を図っています。

私たちの考え方や行動を変えるには、失敗する恐れやリスクを最小限に意識し、不作為バイアスによっては、何も生まれないということを理解することです。「やって後悔するより、やらない後悔の方がもっと辛い」のです。何もしないのでは、100%、成果も成功も生まれません。

大和田同好会の初級者教室が、昨年の9月から毎週土曜日の午前中欠かさず開かれています。そして今年度最初の活いき大会をこの6月6日に大和田市民センターで開きます。会場の人数制限や安全対策から、対象は級位者といったしますが、この大会を皮切りに新たな日常性を取り戻したいものです。

「三波去り、私も3級(サンキュー)と叫びたい」

## お知らせ

### (1) 第30回活きいき大会再開のお知らせ

活きいき大会は今年で30回目を迎えます。大和田囲碁同好会の主催で今年度最初の活きいき大会を開きます。大和田市民センターは人数制限のために今回は級位者だけの参加となります。センター内での飲食はできません。昼食は付近にある牛丼屋や中華料理店などでおとりください。コロナ対策はいままでどおりです。なおセンターの駐車場は限られております。相乗りかバスをお勧めします。

日時：令和3年6月6日(日) 9:00~16:30

会場：大和田市民センター3階 第1, 3会議室

参加者：級位者

定員：抽選で30名

会費：600円

申し込み：お名前、級位をそえて各同好会長へ

締め切り：令和3年5月23日

\*問い合わせ：大和田同好会長 成田 滋 [shigerunarita@gmail.com](mailto:shigerunarita@gmail.com)

### (2) 令和3年度定例総会開催

3月14日(日)東浅川保健福祉センターに於いて定例総会を開催しました。詳細は次号で報告いたします。

### (3) 研修部からのお知らせ

#### ◆ 研修部の活動は後期から

コロナ禍が長引き、東浅川保健福祉センター集会室の参加人数の制限も続いています。今年度は10月から研修会を再開いたします。それまで皆様には健康に留意されお元気にお過ごしください。(研修部事務長 野嶋孝征)

### (4) 「オンラインGOセミナー」へのご招待

2021年4月から予定している同好会主催の活きいき大会はしばらくお休みです。そうした事情で、オンライン囲碁講座を再開いたします。講座の名称は「オンラインGOセミナー」。セミナーの対象は主として級位者とし、級位者の棋力の底上げを狙います。但し、もっと勉強したいという有段者の参加も歓迎します。セミナー参加は無料ですが八碁連へのカンパは歓迎です(^)。

GOセミナーの開催は4月から7月まで毎月第一、第三月曜日の午前10時~12時とします。4月は5日、19日、5月は3日、17日に実施します。

・講師：吉澤 實八段、藤森 力七段、竹内朝晴六段(いずれも恩方同好会)、柳豊太郎七段(大和田同好会)  
話題提供者：南正一郎五段

・セミナーの話題：いろいろな布石、伝統的定石、AI定石、手筋、はめ手破り、碁の格言、大場と急場、三子局の必勝法、級位者も打てるAI、ツケへの対応、石の方向、隅の魔術など

・コーディネータ(ホスト)：成田 滋

GOセミナーでは以下の準備が必要です。

・機器の環境：インターネット接続のパソコン(スマホ)及びカメラとマイク



- ・ 使用アプリ : Zoom ©
- ・ 参加希望者 : 予め使用アプリをダウンロード
- ・ 参加の URL : <https://us04web.zoom.us/j/4224019953>
- ・ パスワードは参加希望者にお知らせいたします。なお、Zoom の使い方や GO セミナーへの参加の仕方などの質問にお答えします。成田、あるいは講師の方までお知らせください。(成田 [shigerunarita@gmail.com](mailto:shigerunarita@gmail.com))

## 八碁連支部コーナー

### 令和 2 年度の支部活動報告と今後

はじめに、端山昌夫氏(台町同好会)が第 39 回令和 2 年度普及活動賞を受賞されました。永年、入門者や初級者の育成に貢献されて来られました。全国で 41 名のなかの一人です。誠にありがとうございます。

令和 2 年度は年初より新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほとんど何もできない一年でした。「囲碁のある日常」のありがたさを改めて感じさせられました。総本山の日本棋院もイベントのほとんどが中止となり、4 月から 6 月の緊急事態宣言下では棋士の対局も停止したほどです。一方、プロ碁界では一力遼(天元・碁聖)、芝野虎丸(王座・十段)、井山裕太(棋聖・名人・本因坊)の三強時代に入ったようですし、女流碁界でも藤沢里奈女流本因坊が四冠を達する活躍や、つい今月、仲邑菫初段が(12 歳)が全日本早碁オープン戦予選で勝ち、昇段規定により史上最年少で二段昇格を決めるなど、囲碁ファンを楽しませてくれました。

一方、日本棋院の財政状況は昨年につづき厳しい状況にあり、昨年 9 月末現在の会員総数は 24,787 名で前年比約 10%の落ち込みとなり、今年 9 月末ではコロナ禍も当分継続することを考えれば、さらなる落ち込みが予想されます。小林覚理事長を筆頭に抜本的見直しを期待いたします。

次に八碁連支部の状況につき報告致します。

大会については、7 月に予定していた第 7 回級位認定囲碁大会及び 8 月に予定していた第 2 回ペア碁大会はコロナウイルス禍により中止しました。指導碁については、10 月に甲田明子四段の指導碁を、11 月には熊丰七段による指導碁を実施し、合わせて 20 名の方が受講されました。知念かおり六段の指導碁も予定しましたが、手合い日と重なり中止としました。また、吉澤實八段、三島敏明七段を講師とする囲碁研究会を 10 月から 11 月にかけて 8 回実施しました。

今月 10 日に支部役員会を開き、会計監査役の吉澤實氏による令和 2 年度決算の承認を得たのち、来期の事業計画及び予算等を話し合いました。事業計画はコロナウイルス禍の鎮静化を想定して前年度計画と同じとし、それに伴った予算化を行いました。

一方、支部会員の状況は 2 月末時点で 38 名と少しずつ減少しています。それに伴い支部ポイントも減り、例えば棋士特別派遣の特典が得られる 150 ポイントの瀬戸際にあります。これを盛り返すため、次の施策を実施しますので、支部会員はもとより皆様のご協力をお願いする次第です。

1. 新規支部会員(日本棋院会員)の獲得
2. 日本棋院会員の支部会員への移行
3. ネット碁の「幽玄の間」会員や「情報会員」の支部への登録(支部会員である制約はない)
4. 普及指導員の支部への登録(支部会員が条件)です。

また、月刊誌「囲碁未来」が発行部数の減少により来年 3 月で廃刊となります。これに伴い支部の「囲碁未来」会員の方々には、今年の期間満了時に当方よりご相談させていただきますが、是非、会員の継続をお願いする次第です。

尚、総会の開催については、前年度はコロナウイルス禍により、書類決済とさせて頂きましたが、

令和3年度からは、期首にこのような報告書を「八基連だより」に掲載することで総会の開催、議案書の送付を止めることにしました。ご了承願います。毎期、議案書は作成しておきますので、ご希望の方はご連絡下さい。また、支部への要望等ありましたら、どしどしお寄せ下さい。

以上、よろしくお願い致します。

常任理事 南 正一郎 TEL&FAX 663-5446 Eメール [sminami0003@yahoo.co.jp](mailto:sminami0003@yahoo.co.jp)

## 投稿

### 倉内 満、帖地美乃里氏の第四小学校訪問記 成田 滋

如月の初日は、うららから陽気となりました。かねてから倉内満氏よりご希望のあった市立第四小学校の子ども囲碁教室の訪問が実現しました。第四小は京王八王子駅の近くにあります。午後2時過ぎに帖地美乃里六段と一緒に越しになりました。まずは井上正彦校長と矢澤英輝副校長にご挨拶し、三階にある「ひらめき教室」へ向かいます。この教室は特別な支援のある子どもが通常学級からやって来て、少人数で指導を受ける教室です。ここが子ども囲碁教室の会場となっています。倉内氏は難儀そうに階段を上られます。エレベータはありません。第四小も例外ではありません。

囲碁教室の子ども達には、事前に「日本棋院の高段者お2人が来校し指導される」というチラシを作り、保護者にも連絡しておきました。2時半に授業が終わると生徒がやってきます。10名の生徒が揃ったところで、お客様の紹介です。黒板に私がお二人の名前を書き、それを生徒に読ませます。倉内氏のお名前はスラスラと読むのですが、帖地氏のは難しいようです。4年生の女の子が「ちょうち」と言いますと、帖地先生はとても驚かれて、「いままで正しく読んでくれた生徒はいませんでした」と感激そうでした。

その日に用意したのは、いつもの9~13路盤4セット、大盤マグネット、入門ドリル問題、そしてタブレット(iPad)一台です。タブレットいろいろな易しい詰め碁の問題が入っています。子ども囲碁大会に数回出場している5年生二人に倉内氏と帖地氏から指導を受けて貰いました。最初は自由対局、二局目は一手一手に解説を入れながらの指導です。側で見ていると、「やはり私の指導よりは丁寧で上手だな、」と反省しました。



【第四小 放課後子ども囲碁教室】

大盤マグネットでは二人で対戦させます。磁石のついた碁石を使います。大盤は周りの生徒が眺めるので人気のある道具です。

日本棋院が発行している「囲碁入門」からドリル問題を複写しておき、それを机のうえで解かせます。攻め方、守り方の基本を覚えさせて、対戦のコツとか進め方を学ばせます。通常の教室では人手が足りないので、ドリル学習は欠かせません。

タブレットでの練習問題は、一人でも数人でも楽しめます。数人で使うときは、正解の手を打ったときは、「正解」の画面となり、次の生徒の番となります。不正解のときは「再挑戦」というボタンを押して正解となるまで試すのです。

タブレットは取り合いになることもあります。元の画面に戻ると、パスワードを要求してきます。私に「パスワードを教えて！」とってくるのです。「僕はお母さんのスマホのパスワードを知っているよ、」という子どももいます。パスワードの変え方を覚えているのもいます。くわばら、くわばらです。

#### 【指導風景】

生徒と一緒に碁盤や碁石をかたづけ、教室の机などを消毒液で拭いてから生徒は帰宅します。校長室での懇談はもっぱら囲碁教室の話です。倉内氏は盛んに市内の学校での教室の状況を説明されます。井上校長は、「今の学校は、さまざまな教育が上から要求されて、忙しい」というのです。道徳が教科となったこと、安全教育、人権教育、環境教育、防災教育などなど、指導すべき領域が盛りだくさんで、教師自らも「ゆとりのなさ」に直面しているというのです。総合的な学習の時間に囲碁を導入しては、という話題を出しにくくなりました。



子ども囲碁大会の話題となりました。毎年、第四小や第十小、大田和小から生徒が大会に参加していることは井上校長も知っておられます。昨年の6月からこの3校では放課後子ども囲碁教室を続けています。コロナ感染を恐れて教室や大会を中止するのは簡単です。私たちは得てして失敗を恐れて行動しないことがあります。それでは、成果や成功も100%無くなります。倉内、帖地氏の第四小訪問は、市内の学校における子ども囲碁教室の積極的な展開を語る機会ともなりました

### 理事会報告

#### 令和3年2月度理事会報告

日時 令和3年2月27日(土) 午前9時～11時40分

場所 東浅川保健福祉センター 創造活動室3F

出席者 成田、南(記)、高取、武中、鈴木、吉澤相談役(総会対応の為出席をお願いしました)

#### 報告事項(抜粋)

- ① 今年度の日本棋院普及活動賞に端山昌夫氏が選ばれた。関東支部総会での表彰式はコロナ禍により中止
- ② 八王子文化連盟理事は引き続き竹内朝晴氏にお願いした。
- ③ 「呼びかけの碁」の「八碁連グループ」を立ち上げ、現在10名の参加者がいる。
- ④ オンライン碁講座を級位者対象に4月から再開する。

#### 議案の決定事項(抜粋)

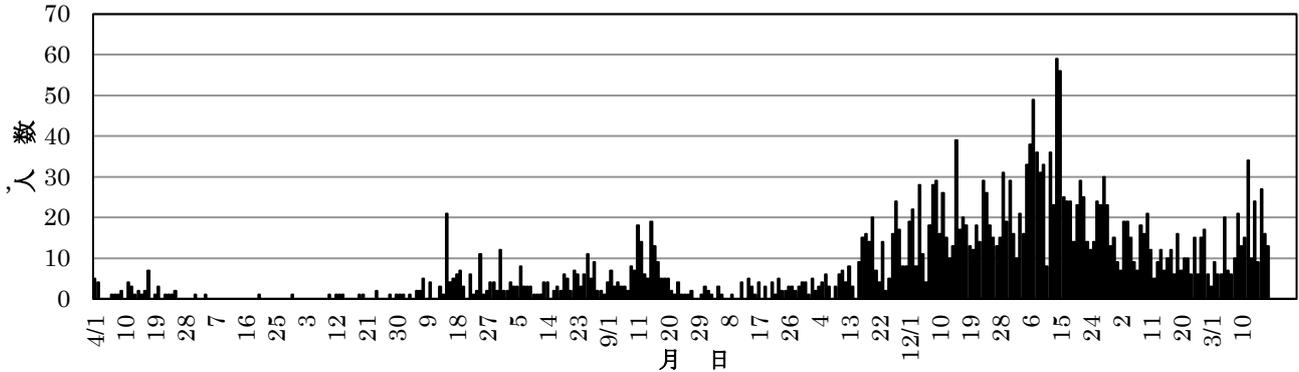
- ① 文化連盟理事の任命や任期について、文案を会長が作成し理事間で引き続き検討する。
  - ② 理事の負担軽減対策等として、専従スタッフ制を提案 総会で説明と意見交換を願うこととした。
  - ③ 令和3年度理事の役割分担が報告され、新理事会はチームで協力し合うことが会長から説明された。
- ※その他 今期改訂の規約につき、会長任期延長及び女性囲碁大会昇格の件(サイトに掲載済)及び級位認定の改定案等を、各会長に通知することとした。 以上 詳細は議事録参照願います。

## コロナ情報

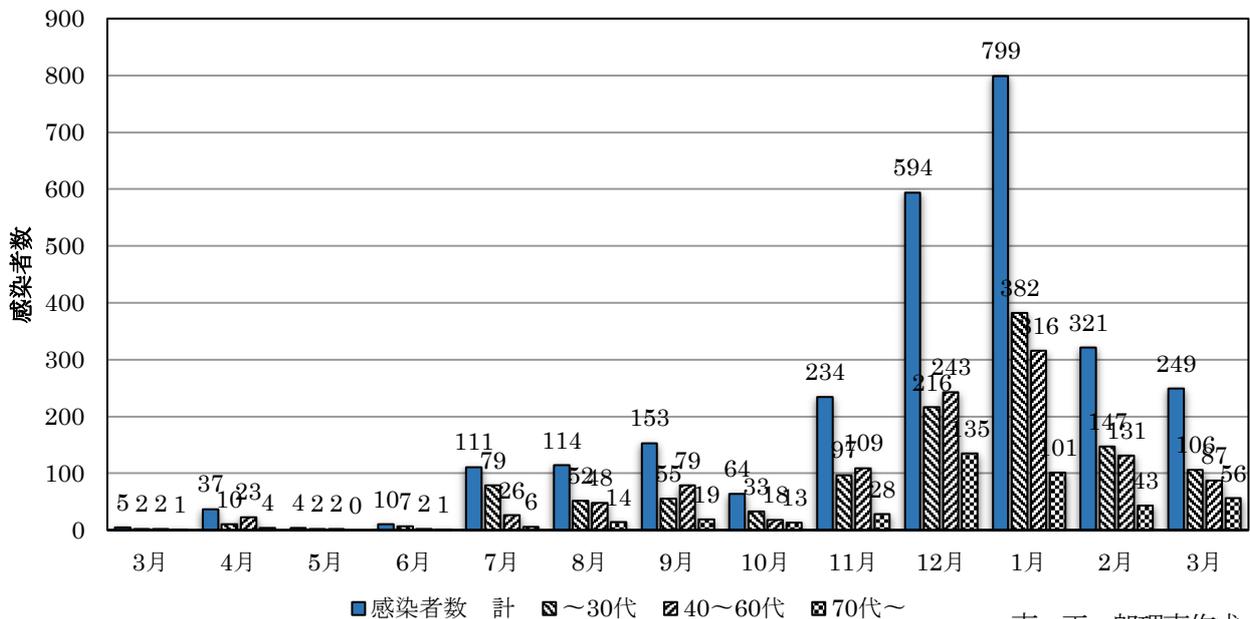
・ 3月18日時点

- ・ 八王子市の感染者の総数は2,695人で1,000人当たり4.7人(東京都は8.3人)である。
- ・ 新規感染者数については3月11日よりステージ3に、療養者数については3月14日よりステージ4に逆戻りした。
- ・ 新規感染者の、3月18日までの1週間毎の増加率は3.7% 5.2% (東京都1.7% 1.8%)である。  
この数値は海外との比較においても高い数値となっている。 十分注意してください。

### 日毎感染者数(八王子市)



### 月別・年代別感染者数(八王子市)



南 正一郎理事作成

## 編集後記

本号にて私の広報担当は終わりになります。次号からは八基連初の女性理事 多田さんに引き継いでいただきます。是非とも皆様のご支援ご協力をお願いします。私は8年前に初心者入門、初心者教室に入会させていただき、囲碁の楽しさを知り夢中になりました。その後研修部へ上げて頂くと同時に長房同好会に入会させてもらい現在に至っております。その間囲碁の楽しさと同時にいろいろな方々との出会いが自分にとって有意義なものになりました。そんな私が八基連理事を担当するなどとても無理との思いでしたが、強い要請もありお受けし、何とか2年の任期を迎えました。初年度はフルに大会ができましたが、今年度は全滅になってしまったのが、広報担当としては心残りです。ありがとうございました。

(文責 鈴木 富士雄)